

第 35 回  
世界バトントワーリング選手権  
東北支部選考会

基本実施要項



※一般社団法人日本バトン協会HP等で公開される本予選に関わる  
規定に変更があった場合、この規定も同様に変更する。

日本バトン協会東北支部

## 目 次

### 第 35 回世界バトントワーリング選手権大会

大会概要	2
競技概要	3

### 第 35 回世界バトントワーリング選手権 東北支部選考会

大会概要	4
実施規定	5
規定曲申込み	8
注意事項	8
その他	10
緊急対策	11

# 第 35 回 世界バトントワーリング選手権大会 大会概要

名 称	第 35 回世界バトントワーリング選手権大会
主 旨	1978 年、カナリー諸島において、世界スポーツバトンの向上と発展、選手、国家間の友好を目的とし、世界バトントワーリング連合 [WORLD BATON TWIRLING FEDERATION] (WBTF) が設立され、1980 年にアメリカ・シアトルで「第 1 回世界バトントワーリング選手権大会」を開催。芸術スポーツとしてのバトントワーリング競技の確立と普及、さらにはオリンピックの正式種目になることを最大の目標として発展を目指しています。
開催日程	2020 年 8 月 13 日 (木) ~ 8 月 16 日 (日) (予定)
開催場所	イタリア リッチョーネ
主 催	世界バトントワーリング連合 (WBTF)
参加国 (予定)	WBTF 加盟 39 カ国 アイルランド、アメリカ、アルメニア、イタリア、イングランド、インド、ウェールズ、ウクライナ、ウズベキスタン、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、ギリシャ、キルギスタン、クロアチア、ジョージア、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、大韓民国、チェコ共和国、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、パキスタン、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ブルガリア、ベラルーシ、ベルギー、ポーランド、マルタ、南アフリカ共和国、ロシア
種 目	フリースタイル個人 (ショートプログラム) フリースタイルペア フリースタイルチーム

<第 35 回世界バトントワーリング選手権大会競技概要>

種 目	年 齢 区 分	演技時間	国代表	競技フロア
フリースタイル個人 (ショートプログラム含む)	ジュニア (女子・男子) 12才~17才 シニア (女子・男子) 18才以上	ジュニア 1分30秒~2分 シニア 2分~2分30秒 過不足10秒可	各3名	ショートプログラム 縦15m×横14m  フリースタイル 縦15m×横25m
フリースタイルペア	ジュニア 12才~17才 シニア 18才以上	ジュニア 1分30秒~2分 シニア 2分~2分30秒 過不足10秒可	各1組	縦15m×横28m
フリースタイルチーム	性別区分なし 12才以上 [6名~8名]	3分~3分30秒 過不足10秒可	1チーム	縦15m×横28m

# 第 35 回 世界バトントワーリング選手権 東北支部選考会 大会概要

名 称	第 35 回世界バトントワーリング選手権東北支部選考会
主 旨	本大会は、日本バトン協会東北支部の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって東北のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに東北各地からバトントワラーが一堂に集い、東北支部代表選手を選考するものです。
開催日時	2019 年 12 月 21 日（土） 9:00～19:00(予定)
開催会場	東運動公園 東体育館 【八戸市東体育館】 〒031-0823 青森県八戸市湊高台八丁目 1-1
主 催	日本バトン協会東北支部 東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟 〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町 13-7 TEL0187-86-0560 FAX0187-86-0561
主 管	青森県バトン協会
協 力	青森県マーチング協会 青森県マーチングバンド・バトントワーリング連盟
後 援 (予定)	青森県教育委員会、八戸市教育委員会、八戸市中学校長会、八戸市小学校長会 秋田県教育委員会、岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会 青森県高等学校文化連盟、秋田県高等学校文化連盟、岩手県高等学校文化連盟 宮城県高等学校文化連盟、山形県高等学校文化連盟 R A B 青森放送、A B A 青森朝日放送(株)、A T V 青森テレビ、NHK 青森放送局 コミュニティラジオ局 B e F M、(株)八戸テレビ放送、東奥日報社 デーリー東北新聞社 一般社団法人日本バトン協会
種 目	フリースタイル個人（ショートプログラム） フリースタイルペア フリースタイルチーム

# 実施規定

## 1. 出場資格

- (1) 選手は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程及び構成員登録規程に準ずる。
- (2) 複数種目出場選手は同一団体から申し込むこと。尚、(4)①の場合を除く。
- (3) 複数の支部での出場は認めない。
- (4) 支部推薦種目  
[フリースタイル個人/フリースタイルペア/フリースタイルチーム]
  - ① フリースタイルペア/フリースタイルチームのメンバーは、支部内の複合を認める。尚、どちらの団体から出場するかは任意とする。
  - ② **フリースタイルチーム・フリースタイルペアのメンバー及び補欠は日本代表選考会も同様とすること。**
  - ③ 同一選手の出場は3種目の中から2種目までとする。**補欠も同様とする。**
- (5) すべての参加申し込み申請の〆切は、**2019年11月15日(金)14時**までとする。
- (6) 本大会に参加する選手は、参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。  
※申込用紙は、東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟ホームページからダウンロードし、大会専用メール宛先：touhoku\_baton@yahoo.co.jpに送信すること。  
※メールの件名に「団体名 35 東北支部選考会大会申込」を入れること。
- (7) 下記の種目別の参加費を、**締め切り日までに指定口座への納入を厳守すること。**
  - ① 一度納入された参加費は、原則として払い戻しはしない。
  - ② 参加に要する個々の経費は、各選手の負担とする。

種目	参加費
フリースタイル個人	8,500円
フリースタイルペア(1組)	13,000円
フリースタイルチーム(1チーム)	20,000円

**(8) 日本国籍であること。**

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失う場合もある。

※大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

**(9) お問合せ**

お問い合わせは、メールで受付する。

メールの件名に「団体名 35 東北支部選考会」入れること。

大会専用メール宛先：touhoku\_baton@yahoo.co.jp

## 2. 部門

(1) 部門は以下の通りとする

- フリースタイル個人ジュニア（女子・男子） 12歳～17歳  
2003年1月1日生まれ～2008年4月1日生まれ
- フリースタイル個人シニア（女子・男子） 18歳以上  
～2002年12月31日
- フリースタイルペアジュニア 性別区分なし 12歳～17歳  
2003年1月1日生まれ～2008年4月1日生まれ
- フリースタイルペアシニア 性別区分なし 18歳以上  
～2002年12月31日
- フリースタイルチーム 性別区分なし 12歳以上  
～2008年4月1日

## 3. 演技順

- (1) 演技順は、実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し審査委員会にて決定する。
- (3) アナウンスについて
  - ①セット番号→②最後の選手名アナウンス→③約2秒後に「ミュージック」→④約1秒後に音楽を再生する。

## 4. 認定

- (1) 各種目ごと、成績順に東北支部代表を発表し認定証を授与する

## 5. 競技におけるアクシデント

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、団体責任者・選手・大会長・審査員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。競技フロアにいない場合は棄権とみなす。

## 6. 著作権について

**【フリースタイル個人・フリースタイルペア・フリースタイルチーム共通】**

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

大会では音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できない。

(1) 音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。
- ④ 支部大会において許諾が取れていても、日本代表選考会の許諾は必ずとること。

**※録音使用許諾については、支部大会・日本代表選考会を一括して許諾申請することができる。**

尚、著作権は著作者の死後70年を経ると消滅する事が原則だが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理すること。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

**① 条件なしで許諾された**

○版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

**② 条件ありで許諾された（無料）**

○版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

**③ 条件ありで許諾された（有料）**

○版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

**④ 許諾の必要がない（自作曲等）**

○書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「著作権を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること。

- ① 著作権所有の正式団体名
- ② 住所
- ③ 電話番号／メールアドレス
- ④ 担当者名
- ⑤ 許諾に関する対応をされた期日

## 7. 大会における肖像権について

選手は肖像権を日本バトン協会東北支部へ譲渡するものとする。支部指定業者により撮影された肖像を協会資料や新聞、雑誌、ホームページに掲載し、テレビ、インターネットで放映し、広告、宣伝に利用し、商品化するなど営利非営利を問わず利用することに同意したものとする。

但し、日本バトン協会東北支部へ参加申込締切までに書面にて使用拒否の旨を提出した場合はその限りではない。肖像権取り扱い規程に準ずる。

## 8. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。



# 規定曲申し込み

## 1. 規定曲

2014年度改訂 WBTF 新課題曲 CD 1,000円（税別）を送料別にて一般社団法人日本バトン協会で購入している。

- [1. Women Title: Into the Splendid World/ 2. Men Title: Challenging Into the Future/  
3. Artistic Twirl & Artistic Pair]

## 注意事項

### 1. 傷害保険について

- (1) 当協会にて、選手を対象に傷害保険に加入する。
- (2) 補償内容は「大会当日の会場到着時から会場出発時まで」とする。会場までの移動や宿泊中の傷害保険については、各団体が任意で加入のこと。

### 2. 選手及び引率者について

- (1) 選手は“大会記念バッジ”と“一般社団法人日本バトン協会 2019年度構成員ワッペン”を左腕に、引率者は当日配布された“通行ID”を着装し、選手用の入口から入館する。
- (2) 引率者は「登録引率者」として有料とする。※大人 2,200円、中・高校生 1,200円  
なお、大会申込時のみ申請を受け参加費と一緒に振り込みすること。  
但し、登録引率者は1度の登録で複数の大会の引率が可能とする。  
※「登録引率者」は全て各大会ごとに選手16名以下2名、選手17名以上3名とする。  
なお、登録引率者にはプログラムは配布しない。

### 3. 団体受付（選手受付）について

- (1) 登録引率者は、指定の時間に団体受付及びバトンチェックを受けること。  
時間等、随時東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟ホームページに掲載する。
- (2) 団体受付時（選手受付）に“大会記念バッジ”、登録引率者に“通行ID”及びプログラム（予約分）を配布します。受領後、数を確認すること。
- (3) 棄権者がいる場合は、棄権届用紙を団体受付（選手受付）に提出すること。審査部用、演出部用、大会本部用の記入が必要。  
随時、東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟ホームページに掲載する。
- (4) 受付後、棄権する場合は大会本部に申し出て所定の手続きを行うこと。

### 4. バトンチェックについて

- (1) 時間等、随時東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟ホームページに掲載する。  
※詳細は競技規定・審査規定の「その他の競技規定」1.全種目共通に掲載。

## 5. ウォーミングアップについて

- (1) サブアリーナ（体育室）
  - 建物の構造上トス等の練習は不可とする。
  - 入場は選手だけとする。又、CD等での音出し禁止。
  - サブアリーナ（体育室）は、演技順に係の指示に従って入場し、譲り合って練習すること。
- (2) ウォーミングアップエリア
  - 演技フロア内（競技場）にウォーミングアップエリアを設ける。
  - 入場は選手だけとする。又、CD等での音出し禁止。
  - ウォーミングアップエリアは、演技順に係の指示に従って入場し、譲り合って練習すること。
  - ウォーミングアップエリアに入る際、選手は係員にセット番号、名前を伝えてチェックインすること。

## 6. 演技フロア（競技場）について

- (1) 選手、役員、係員以外の演技フロア（競技場）は入場禁止。
- (2) 演技フロア（競技場）へのバトン以外の持ち物は持ち込まないこと。
  - ※タオル等の使用は、指定場所のみ使用可とする。

## 7. 選手席について

指定された席（エリア）のみ使用可能とする。なお、選手は一般席には入場禁止。

## 8. 競技進行について

- (1) セットナンバー順に行う。
  - ※演技時間は、プログラムのスケジュールと多少前後することがあるので、間違わないように進行状況を各自確認すること。

## 9. 開会式・表彰式・閉会式について

- (1) 開会式
  - 選手の整列はなしとする。
- (2) 表彰式
  - 選手全員が整列すること。館内放送及び係員の指示を受けて整列すること。
- (3) 閉会式
  - 表彰式に引き続き閉会式となる。

## 10. 大会会場について

- (1) 会場の外では大きな音は出さないこと。また、コスチュームのまま外に出ないこと。
- (2) 駐車場やロビー、通路等でのすべての練習禁止とする。
- (3) 荷物や貴重品の管理は各自で行うこと。
- (4) 全面土足禁止。
- (5) 一般席、選手席での飲食は可能とする。（会場内に売店、食堂の施設なし）
- (6) 更衣室の利用は可能とする。（リターン式コインロッカー有）
- (7) 感染症等の予防処置としてマスクを持参すること。

## 11. その他

- 当日の運営に関するご意見等は、団体責任者を通じて大会本部まで申し出ること。
- その他の詳細については随時、東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟ホームページに掲載する。

# その他

## 1. 入場券について

一般 前売り 2,200 円 当日 2,500 円  
小・中・高校生 前売り 1,200 円 当日 1,500 円

※未就学児は無料。(同行者の膝上での観覧の場合)但し、座席が必要な場合は有料となり小・中・高校生券を購入すること。

※参加選手は無料で観覧できる。(選手席のみで可)

(係員が “大会記念バッジ” と “一般社団法人日本バトン協会 2019 年度構成員ワッペン” を判読しやすいように左腕につけること)

(1) 前売り券は、セブンイレブンで販売する。発売予定日等の詳細は随時、東北マーチングバンド・バントワーリング連盟ホームページに掲載する。

## 2. プログラムについて

前売り券 (予約販売) 500 円  
当日売り 700 円

※なお、プログラムは全大会を通して参加団体に 1 部、選手に 1 部を贈呈する。

## 3. ゴミ処理について

ゴミは、各団体で処理すること。

## 4. 館内での撮影について

(1) 館内での全ての撮影禁止。

※スマートフォン・カメラ・携帯カメラ・ビデオカメラ等での全ての撮影。

(2) 記念写真撮影を希望する場合、大会指定業者に各自申し込むこと。

※当日指定業者が会場を受付する。

(3) 全国大会推薦者のプログラム掲載用の写真撮影は閉会式終了後サブアリーナで行う。

# 緊急対策

## 1. 目的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減するために以下の緊急時対策をとる。

## 2. 予防体制

- (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理については、特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
- (2) 入場開始 1 時間前に、役員及び係員全員で、消防器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあった場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
- (3) 開会 30 分前に再度確認する。

## 3. 緊急事態発生の場合

### (1) 火災発生の場合

- ① 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、臨席の消防官・警察官に通報、また、各担当責任者に連絡すること。
- ② 各担当責任者は、大会本部に通報し、大会本部は消防署に通報する。
- ③ 臨席の消防官または警察官の指示は、各担当者が受け大会本部に連絡する。
- ④ 初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を、各担当責任者が関係係員に確認しておくこと。
- ⑤ 来場者の避難誘導については、大会本部と大会会場職員の連絡（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。

### (2) 地震の場合

- ① 来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。誘導にあたっては、大会会場職員、各担当責任者、臨席の消防官・警察官の指示を受ける。

### (3) けが人・病人発生の場合

- ① けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つこと。
- ② 各担当者は本部に通報する。
- ③ 必要がある場合は、大会本部より救急車の出動を要請する。
- ④ 救護所（救護係員）は、大会本部に設置する。万が一に備え健康保険証の持参すること。